

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 40代	濾胞性甲状腺癌 (甲状腺機能検査異常)	24mg 26日間 ↓ 中止 ↓ 24mg 42日間 ↓ 休薬 ↓ 24mg 514日間	胆嚢炎 投与前	胆石の有無：不明 胆泥の有無：不明
				投与開始日	本剤24mg/日 投与開始。
				投与15日目	高血圧を発現。
				投与25日目	鼻出血を発現。
				投与26日目	胆嚢炎を発現。外科処置は未実施。 肝機能障害を発現。 症状：腹痛（自発痛・圧痛），心窩部痛，上腹部痛 画像診断：CT検査 所見：胆嚢腫大 胆石の有無：無（超音波検査およびCT検査） 胆泥の有無：無（超音波検査およびCT検査） 治療：スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム 2g/日（投与26～32日目）
				投与27日目 (投与中止日)	本剤投与中止。鼻出血は回復。
				投与中止7日後	胆嚢炎，肝機能障害は回復。
				投与中止91日後 (再投与開始日)	本剤24mg/日で投与再開。
				再投与43日後	本剤休薬。
				再投与64日後	本剤24mg/日で投与再開。
				再投与78日後	高血圧は回復。
				再投与578日後 (投与終了日)	本剤投与中止。

次ページに続く

臨床検査値						
	投与 1日目	投与 15日目	投与 26日目	投与 27日目	投与中止 7日後	投与中止 9日後
白血球数 (/ $\mu$ L)	4,160	4,110	5,640	7,300	4,870	4,710
CRP (mg/dL)	0.27	0.88	4.49	8.30	2.68	1.43
AST (IU/L)	33	33	52	33	27	51
ALT (IU/L)	35	31	52	39	46	50
ビリルビン (mg/dL)	0.5	0.8	1.9	1.5	0.4	0.4

併用薬：レボチロキシナトリウム水和物

### 症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	女 80代	乳頭様甲状腺癌 (高血圧、認知症、糖尿病、甲状腺機能検査異常)	24mg 14日間 ↓ 休薬 ↓ 20mg 4日間 ↓ 休薬 ↓ 14mg 55日間	急性胆嚢炎 投与6ヶ月前 胆石の有無：無 (CT検査) 胆泥の有無：無 (CT検査)  投与開始日 投与3日目 本剤24mg/日 投与開始 (入院導入)。 食欲不振を発現。糖・電解質・アミノ酸液、輸液用電解質液にて治療。  投与7日目 高血圧を発現。 CT 検査：胆嚢は軽度腫大があるが病的でない。 胆石、胆泥は認めず。CT 検査：投与7日目 に比較すると腫大しているが病的でない。  投与14日目 本剤休薬。  投与26日目 本剤20mg/日で投与再開。  投与30日目 本剤休薬。  投与33日目 食欲不振は軽快。  投与34日目 本剤14mg/日で投与再開。  投与51日目 血小板減少を発現。  投与78日目 外来受診。腹痛の訴えなし。  投与89日目 (投与中止日) 急性胆嚢炎の疑いで緊急受診。CT 検査にて確定診断。緊急入院。 急性胆嚢炎を発現。本剤休薬。 症状：季肋部の腹痛 (圧痛) あり。発熱はなし ※ 一週間前に異状は見られず 画像診断：超音波検査およびMRI 検査 所見：著明な胆嚢腫大、胆嚢壁肥厚 胆石の有無：無 (MRI 検査) 胆泥の有無：有 (超音波検査) 治療：セフメタゾールナトリウム 3g/日 (～投与中止6日後)  投与中止4日後 高血圧は未回復。  投与中止14日後 血小板減少は回復。  投与中止18日後 本剤を投与中止して保存加療するも、急性胆嚢炎は軽快せず、腹腔鏡下胆嚢摘出術施行。  投与中止37日後 退院。急性胆嚢炎が回復。	

### 臨床検査値

	投与 10日前	投与 14日目	投与 78日目	投与 89日目	中止 18日後	中止 28日後
白血球数 ( $\times 10^3$ /mm <sup>3</sup> )	4.8	7.2	4.8	5.5	6.2	3.7
CRP ( $\mu$ g/mL)	0.63	4.00	0.47	0.42	1.32	2.17
AST (IU/L)	15	45	33	33	23	16
ALT (IU/L)	8	40	19	13	10	8
ビリルビン (mg/dL)	0.2	0.7	0.5	0.5	0.5	0.2

併用薬：レボチロキシナトリウム水和物